

平成21年7月10日

株式会社 ビックカメラ

平成21年8月期 月次売上速報

- 数値はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値とは異なります。
- ソフマップを除く当社小売グループのPOSデータ、及び、インターネット通販の売上データを集計しております。
(当社小売グループ: ビックカメラ、ビック・スポーツ、ビック・トイズ、ビック酒販、生毛工房)
- 数値には携帯電話加入申込手数料、インターネット取次手数料等の手数料売上は含まれておりません。

1. 売上高の状況(全店前年比)

(単位:%)

	平成20年 9月	10月	11月	12月	平成21年 1月	2月	上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	累計
売上高	98.0	100.6	101.7	88.1	95.2	90.7	95.1	95.1	91.8	97.7	95.5			95.0	95.0

2. 品目別売上高の状況(全店前年比)

(単位:%)

	平成20年 9月	10月	11月	12月	平成21年 1月	2月	上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	累計
音響映像商品	104.6	109.4	105.4	91.5	102.2	98.6	100.8	101.0	93.9	104.4	101.8			100.2	100.6
家庭電化商品	102.8	103.6	111.6	92.3	109.4	100.6	102.8	104.4	102.5	111.0	115.0			108.5	105.2
情報通信機器商品	95.2	95.6	96.6	86.3	89.8	82.7	90.7	86.4	88.3	86.6	82.2			86.0	88.7
その他の商品	85.4	89.2	94.4	81.6	80.0	82.1	84.9	88.8	84.3	89.4	82.2			86.2	85.4

※2月26日に発表いたしました平成21年8月期第1四半期決算短信の品目別売上高において「デジタルカメラおよびそのアクセサリ」を、従来のカテゴリーである「情報通信機器商品」から「音響映像商品」に変更いたしました。それに伴い、「月次売上速報」でも、昨年9月に遡り品目別売上高の数値の一部を変更いたしております。(変更箇所は「下線」で表記)

3. 概況

- ・6月は前年との曜日・休日比較では日曜日が1日少なく、2.5%程度のマイナス影響がありました。
- ・音響映像商品は、エコポイント制度の開始に伴い大型モデルの比重が一層高まった薄型テレビが好調に推移し、ブルーレイレコーダーも堅調に推移いたしました。一方、デジタルカメラ、オーディオは苦戦いたしました。
- ・家庭電化商品は、エコポイント対象の冷蔵庫、エアコンが高機能商品を中心に好調に推移、この他の家庭電化商品も堅調に推移いたしました。
- ・情報通信機器商品は、携帯電話がやや苦戦し、パソコン本体、パソコン周辺機器が苦戦いたしました。
- ・その他の商品は、玩具が好調に推移し、酒類も堅調に推移いたしました。一方、ゲーム、時計は苦戦いたしました。